
エチュード0：感情カタルシス

なつき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エチユード0：感情カタルシス

【Nコード】

N2188L

【作者名】

なつき

【あらすじ】

「所詮君の言葉はトラウマ論。自分がどんなに辛かったかをアピールする。幸せなほうがいいに決まっているのに。人間って難しい。不幸を自慢したり、幸福を自慢したり。」

所詮君の言葉はトラウマ論。自分がどんなに辛かったかをアピールする。幸せなほうがいいに決まっているのに。人間って難しい。不幸を自慢したり、幸福を自慢したり。

私は決して動物に生まれたくはないけれど、動物的な人間になりたいなと思う。他人との優劣とか、社会的存在意義とか、アイデンティティとか気にせずに、本能のまま耽溺したい。

南の島がいい。誰も住んでいない無人島。真っ白な砂浜に寝そべって、そのまま私も砂になる。さらさらさらさらと、体が音をたて始めたら成功。

君も来る？ 君なら来てもいい。自分のことばかり他人のことばかり気にしている君に、もっともっと健全なよろこびを教えてあげる。

そもそも人間なんて不健全だ。自分がどう見られているかとか、そんなのばかり気にして、ほら今日も鏡で前髪を整える。

もしかしたら快樂的見地から見ると、人間って退化しているのかもしれないね。

もっともっと、単純でいい。好きって気持ちと楽しいって気持ちと、これだけあれば十分でしょう。切ないとか哀しいとかその他もろもろ、そんなのいらぬ。そんなのがあるから複雑になる。

そもそもにおいて感情なんていらぬのかも、しれない。全部消し去ってくれて構わないよ。私はそのとき砂になるから。真っ白な南の島の砂。何億年後かにその砂は海の底にたどり着いて、生命の神秘とやらを見ているのかもしれないね。

いつかいつか、砂になりたい。

(後書き)

だいぶ前に書いたものなので、エチユード0としました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2188/>

エチュード0：感情カタルシス

2010年10月28日04時05分発行